

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和4年11月8日（火）

2 確認箇所

地下水バイパス揚水井No. 5～10周辺フェーシング箇所

3 確認項目

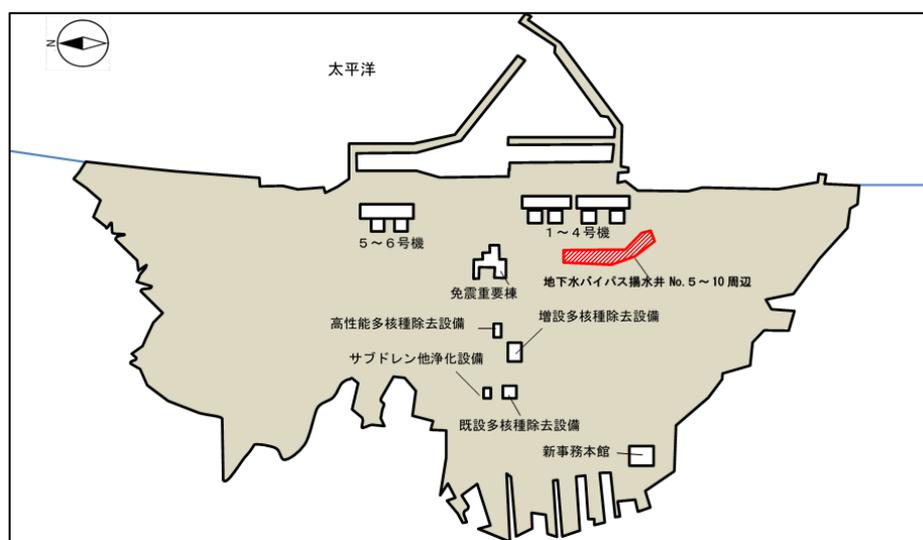
フェーシング状況の確認

4 確認結果の概要

福島第一原子力発電所では、原子炉建屋等に地下水が入り込み、燃料デブリと触れた水と混じることによって汚染水が増えることが問題となっており、汚染水対策の一つとして周辺の地表面にアスファルト等を吹き付けて雨水が地下に浸透することを防ぐ、フェーシングが行われている。

フェーシングは、計画エリア145万 m^2 のうち2022年9月末時点で95%が完了しているところであるが、今回は2015年度にフェーシング工事を実施した3、4号機の山側の法面、特に地下水バイパス揚水井No. 5～10周辺について、フェーシングの管理状況等を確認した。

- ・フェーシングは概ね適切に管理され、確認したほぼ全ての割れやヒビなどの破損は補修されていた。また、フェーシングと側溝の境界周辺は概ね除草されていた。（写真1）
- ・中には一部未修復の破損やフェーシングと道路の境界に雑草が繁茂している状況も散見された。（写真2）



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1-1)
3号機山側法面におけるフェーシング
状況



(写真1-2)
地下水バイパス揚水井No. 6周辺の
フェーシング状況



(写真1-3)
フェーシング補修の例 (赤矢印)



(写真1-4)
フェーシングと側溝間の除草状況



(写真2-1)
フェーシング損傷の例 (赤矢印)



(写真2-2)
フェーシングと道路の境目における
雑草繁茂の状況

5 プラント関連パラメータ等確認

本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。